

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	常設展示において研究成果を提供するほか、市民ニーズを考慮した特別展・企画展等を実施し、多様な形で市民の学習活動を支援する。また、調査研究の成果を生かし、幅広い市民のニーズに対応した講座を行う。さらに展示ガイドアプリなどのＩＣＴ機器を活用した情報提供の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	企画展「戦争と入間の人々」、「季節でみる入間市の野生植物原画展」や、「むかしのくらしと道具展」、食文化ミュージアムとしての特色を打ち出したアリットお茶大学、茶会等の事業の実施により学習機会の充実につながった。							
指標及び説明	【指標】博物館観覧者数				【説明】学習機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		23,027	平時	平時	平時	平時		30,000
		R 2 有事	20,369	23,989	30,310	31,425		R 8 有事
								10,000
分 析	令和7年度は、異なる趣旨の二つの企画展を実施し、多様な学習機会を提供することで、観覧者の増加につなげることができた。今後も市民へ博物館資料を活用した質の高い学習機会を継続的に提供していく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	学習機会の提供に向けては継続的な資料の調査研究が必要であり、その時間を確保するため、業務の委託化等も検討する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実していく。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【地域情報拠点機能の充実について】 ○入館者数 563,050人（前年度比8,318人） ○移動図書館車の運行 ・定期的な巡回（25か所） ・青少年活動センターのイベントに参加（2回） ・貸出冊数 11,288点、新規利用者登録 27人 ○宮寺配本所の運営 ・おはなし会の実施 2回 ・蔵書の入れ替え ○テーマ本の展示 ・関係各課とも連携を図りながら、「パープルリボン運動関連図書」「人生会議関連図書」等87種類の展示 【利用促進事業について】 ・本館「本の福袋」「夏休み1日図書館員」「おまけつき！おすすめ絵本3冊セット貸出」等の実施 ・分館「ビブリオバトル」「俳句ポストの設置」等の実施 【電子図書館サービスについて】 ・小説や実用書を中心とした蔵書の追加 購入冊数 673冊 ・テーマ本の特集 28種類 以上のように、地域情報拠点機能の充実を図るとともに利用促進事業を実施し、さらに電子図書館サービスを提供することにより、学習の機会提供を行った。							
指標及び説明	【指標】入館者数					【説明】図書館入館者数により、学習機会提供の充実度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		638,659	平時	平時	平時	平時		720,000
		R2有事	500,396	541,667	554,732	563,050		R8有事
		341,039						430,000
分 析	令和4年度から令和7年度にかけて、4年連続で入館者数が増加しており、学習機会としての図書館の利用価値が高まっていることが伺える。特に令和4年度から5年度にかけての伸びが大きく、コロナ禍からの回復が寄与した可能性がある。また、各館の閲覧席利用者やおはなし会、おたのしみ会参加者の増加及び夏季の「まちのクールオアシス」への協力も入館者増の要因と考えられる。							
課 題 及 び 改 善 点	入館者数について、さらなる増加に努める。また、電子図書館について、利用者への説明など、さらなる周知をして利用増に努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにし、地域を活性化するため、健康づくり、安心・安全な暮らし、趣味・教養の充実、少子高齢社会、情報格差の解消、環境問題、人権問題、貧困問題、伝統文化の継承等に関する教室や講座を開催します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	公民館基本計画で掲げた 10 の現代的課題を実施できた。							
指標及び説明	【指標】 公民館基本計画で掲げた 10 の現代的課題をテーマとした学習事業の実績					【説明】 10 の現代的課題をテーマとした学習事業をバランスよく実施できたか否かで判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
		8						10
		R 2 有事	9	9	10	10		R 8 有事
		4						5
分 析	公民館基本計画において「現代的課題を中心とした学習事業の企画・実施」を重点施策に位置付けたことにより、各館の事業実施回数はバランスよく行うことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	10 の現代的課題のうち、貧困問題をテーマとする学習事業の実施数が他のテーマに比べて少なく、実施内容のバランスに偏りがある。そのため、貧困問題をテーマとした学習機会を拡充するため、関係機関・関係団体と連携した企画や、住民が参加しやすい切り口での講座設定を行い、実施数の増加を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	市民や関係団体と連携しながら資料を収集整理、保存することで「もの」と「情報」の集積を図るとともに、調査研究、多様な方法により市民へ情報提供を行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	企画展に向けて資料調査、資料整理を行い、その成果を展示により市民へ提供することで、資料情報公開をより進めることができた。							
指標及び説明	【指標】 資料公開件数				【説明】 資料の収集・提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		46,877	平時	平時	平時	平時		53,900
		R 2 有事	52,655	54,562	66,817	68,352		R 8 有事
		47,737						—
分 析	継続的な資料の収集・整理により、資料の公開件数は年々増加している。令和6年度には文書資料の整理の中で、諸家文書でまとまった件数を公開に切り替えた。なお、令和7年度は、家屋解体に伴う資料収集が多く、整理に手が回らない資料も増加した。							
課 題 及 び 改 善 点	博物館資料を継続的に収集・提供していくためには、専門的な知識を持つ学芸員の存在が不可欠である。また、収集した資料の情報を、効果的に市民へ発信していく方法を検討していく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【各年代向けの資料について】 ○児童向け 小学校の授業の内容に沿った図書や課題図書の購入に努めた。 ○一般向け 購入のほか、市民からのリクエストに応えるため、相互貸借制度も活用し、提供に努めた。 購入点数 5,136 冊、借用件数 4,514 点 以上のように、各世代向けの資料の充実を図ることで、地域の課題解決の支援をすることができた。							
指標及び説明	【指標】 図書館資料の所蔵点数					【説明】 図書館資料の所蔵点数により、資料の収集・提供の充実を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	点	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		579,430	平時	平時	平時	平時		600,000
		R 2 有事	587,302	583,599	583,362	581,931		R 8 有事
		582,693						600,000
分 析	令和4年度を頂点として、その後3年間は微減傾向が続いている。特に令和5年度の減少幅が大きく、その後は下げ止まりつつあるものの、依然として減少にあることがわかる。これは、老朽化した資料や、利用頻度の低い資料を計画的に除籍し、書架の整理を行った結果である。 また、予算や保管スペースの制約により、新しい資料の購入数よりも除籍数の方がわずかに上回っているが、これは、資料が「新陳代謝」された状況であると言える。 なお、利用者が必要な資料で所蔵のないものは、県内図書館から借用し、提供に努めた。							
課 題 及 び 改 善 点	子どもの読書推進のための児童書や調べ学習用の図書を購入するとともに、資料の適切な除籍を行い、資料保存スペースを確保する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにするための図書や地域を活性化するための資料等の充実を図り、その利用を推進します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域を活性化するために、9地区センターだより、掲示板やSNS等様々なメディアを通じて地域情報を発信した。							
指標及び説明	【指標】 9館の地区センターだよりの発行回数				【説明】 地区センターだより（ホームページへの掲載含む）で判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		156	平時	平時	平時	平時		108
		R 2 有事						R 8 有事
		156	156	108	108	108		108
分 析	地区センターだよりにより、地域情報やイベント情報の発信は、一定の効果を得ていると考えている。一方、図書や資料の利用については、充実を図る必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	内容の充実や掲載情報の拡充に改善の余地がある。そのため、地区センターだよりの掲載内容見直し(図書・資料の充実、地域活動・団体情報等)を行い、情報周知の充実を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	展示事業や出版物の刊行、ホームページやSNSでの発信等、多様な方法で提供するほか、レファレンスサービスなどによる学習相談に対応する。また、様々な情報を多様なメディアを用いて発信するとともに、指定管理者と連携した魅力的な情報発信により、誘客の促進を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	博物館が運営するホームページやSNS等のほか、指定管理者による広報との連携により、博物館の展示や事業、資料の情報を効果的に発信し、市民の学習機会につながる情報提供を行うことができた。 ※令和7年度 博物館ホームページアクセス 346,149 件。Xフォロワー 1,093 件。フェイスブックフォロワー 507 件。西洋館フェイスブックフォロワー 939 件。指定管理者Xフォロワー 805 件、インスタグラムフォロワー 315 件、公式YouTube チャンネル登録者 184 件							
指標及び説明	【指標】 ホームページアクセス件数、SNS 登録者数				【説明】 情報の提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		356,926	平時	平時	平時	平時		380,000
		R 2 有事						R 8 有事
		305,458	371,372	353,885	335,096	350,002		320,000
分 析	情報発信の方法は、紙媒体のほか様々なデジタルツールが使用されているが、最近では主に HP のアクセス数により毎年 2 万件程度の変動がある。令和 7 年度は前年比 1.5 万件増と効果的な情報発信ができたと考える。今後も各媒体の特性を研究し、情報提供の対象に合わせた発信を行うことで、届けたい方に届けられようにしていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	情報が流れ去っていく SNS とは別に、必要な情報にたどり着きやすいホームページは重要であり、次期情報システムでも、より伝わりやすく更新しやすい仕組みを検討する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、さまざまな方法により市民に、正確かつ迅速に伝えることに取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【図書館ホームページについて】 ○図書館開館 40 周年記念事業のバナーを設定したり、事業の案内を掲載したりするなどして、利用促進に努めた。 【図書館だよりについて】 ○図書館員が薦める一般書及び児童書の紹介を掲載し、利用促進に努めた。 【広報いるまについて】 ○毎月のカレンダーや「あつまれ！いるまぐみ」に図書館情報を掲載し、資料だけでなく、イベント情報の周知に努めた。 【図書館公式 LINE について】 ○図書館新規登録者にチラシを配布したりして、LINE 登録の増加に努めた。 LINE 新規登録数 264 人 【図書館開館 40 周年記念事業の実施】 ○「写真展 図書館今昔物語」や「みんなでモザイクアート」等の事業を実施し、プレスリリース等することで、図書館のことを広く市民に周知する機会を創出した。 以上のように、様々な方法で市民に周知することで、社会教育に関する情報の提供に努めた。							
指標及び説明	【指標】 図書館ホームページへのアクセス数				【説明】 図書館ホームページへのアクセス数により、社会教育に関する情報提供の浸透度合いを判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		旧システムのため不明	平時	平時	平時	平時		80,000
		R 2 有事	17,608	501,941	499,845	486,850		R 8 有事
		旧システムのため不明	(1月～3月)					80,000
分 析	令和 6 年度は微減 (-0.4%) に留まったが、令和 7 年度には減少幅が拡大 (-2.6%) しており、アクセスの低下が定着しつつある可能性が懸念される。要因として、図書館公式 LINE アプリの利用数が増加していることから、図書館の情報収集が LINE に移行していることが伺える。今後は、LINE では「今すぐ必要な情報 (利用案内、開館日等)」を流し、ホームページでは「特別なお知らせ (イベント案内、おすすめ本の紹介等)」を掲載するという住み分けを明確にするなど、利用者のニーズに合わせたサービスを展開することを検討する。							
課 題 及 び 改 善 点	図書館ホームページについて、今後とも、最新情報を掲載し、利用者に様々な情報を周知していくことでアクセス数を増加させる。また、図書館公式 LINE アプリのさらなる周知にも努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	講座・イベント情報及びサークルや地域活動団体に関する情報を地区センターだより、SNS、掲示板等、さまざまな方法により市民に提供します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地区センター（公民館）だより、掲示板やSNS等、様々なメディアを通じて学習情報を発信した。							
指標及び説明	【指標】 ホームページへのアクセス件数					【説明】 社会教育に関する情報の情報提供の浸透度合いを判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		583,754	平時	平時	平時	平時		632,000
		R 2 有事	562,671	615,790	670,467	686,020		R 8 有事
		511,794						592,000
分 析	ホームページへのアクセス件数から、インターネットを活用した情報提供は、目標どおりの効果を得ていると考えている。一方で、紙媒体で情報を得る人も一定数いることから、その点も考慮する必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	インターネットによる情報取得が進む一方で、紙媒体を中心に情報を得る市民の状況に合わせたの情報提供のあり方を確保する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育事業の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	講座・イベント情報、施設の自然情報等について、小中学校等へのチラシやポスターの配布、SNS等で、市民に提供していきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	SNS及び市公式ホームページの更新頻度を上げた。最新の情報を提供することができた。							
指標及び説明	【指標】 年間来所者数				【説明】 利用者の変化をPR効果と捉える			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		25,490	平時	平時	平時	平時		38,000
		R 2 有事	16,000	21,176	25,248	24,131		R 8 有事
		7,625						9,000
分 析	事業情報を市公式ホームページに掲載、市公式SNSや児童・生徒へタブレット配信及び、青少年活動センターSNSで参加者募集、事業報告、自然情報を配信するなど、PRに努めたことにより、事業参加者は増加したものの、来館者は減少している。(施設開放利用者の減少)							
課 題 及 び 改 善 点	情報提供のための手法の調整・検討、効果的な情報発信に取り組む。わかりやすいホームページの作成に取り組む。							

施 策		(1) 社会教育事業の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習の機会提供の充実	博物館	A	A
		図書館	A	
		公民館	A	
	資料の収集・提供	博物館	A	
		図書館	A	
		公民館	A	
	社会教育に関する情報の提供	博物館	A	
		図書館	A	
		公民館	A	
青少年活動センター		A		
学 識 経 験 者 等 意 見	「学習機会の提供の充実」に関して、博物館、図書館、公民館がそれぞれの施設特性や専門性を生かし、多様な学習機会を提供している点を高く評価いたします。博物館では、企画展や体験講座、地域の歴史・文化に関する学習機会を継続的に実施するとともに、幅広い年代の市民が参加できる事業を展開していることが確認できました。図書館においても、利用促進事業や電子図書館サービス事業等を実施し、市民の学習活動を支援していることを評価いたします。また、公民館では、地域課題や現代的課題をテーマとした学習事業を幅広く展開し、地域住民の主体的な学びを支援していることがうかがわれます。 一方で、参加者数や利用者数は回復傾向にあるものの、学習活動への参加者層が固定化している可能性も考えられます。少子高齢化やライフスタイルの多様化が進む中、若年層や現役世代が参加しやすい事業内容や実施方法の工夫が今後ますます重要になると考えます。また、公民館では貧困問題等の現代的課題に関する学習機会の充実が課題として挙げられており、地域の実情や社会的要請を踏まえたテーマ設定についても継続的な検討が望まれます。社会教育には地域課題の解決や地域づくりにつなげる役割も期待されていることから、今後も多様な学習機会の提供に取り組まれることを期待いたします。 「資料の収集・提供」に関しては、博物館及び図書館において、地域の歴史や文化、市民の学習活動を支える資料の収集・保存・提供が着実に行われている点を評価いたします。博物館では資料公開件数が増加しており、収蔵資料を市民へ還元する取組が進められていることが確認できました。また、図書館では市民ニーズを踏まえた図書購入や相互貸借制度の活用等により、多様な資料提供に努めていることを評価いたします。公民館においても、地区センターだよりや掲示板、SNS等を活用して地域情報を継続的に発信しているほか、地域活動や団体情報に関する資料提供を通じて住民の学びや地域参加を支援している点を評価いたします。 一方で、資料の収集や保存が進むほど、整理や調査研究、デジタル化などに必要な人的・物的資源の確保が課題となります。特に博物館では、収蔵資料の増加に伴う管理負担が生じていることがうかがわれます。また、図書館においても限られた予算や保存スペースの中で資料整備を進める必要があります。今後は、資料を保存するだけでなく、学校教育や生涯学習事業との連携を通して積極的に活用し、市民へ還元していく視点も重要になると考えます。さらに公民館においては、地区センターだよりの掲載内容についても、より一層の充実が期待されます。 「社会教育に関する情報の提供」に関しては、各施設においてホームページやSNS、LINE等のデジタル媒体を活用した積極的な情報発信が行われている点を評価いたします。博物館や図書館では、イベント情報や施設利用情報を継続的に発信し、利用促進に努めていることが確認できました。また、公民館においても地区センターだよりやホームページを活用した地域情報の提供が継続されており、青少年活動センターでもSNS等を活用した周知が行われています。			

	一方で、情報発信の充実は単に発信量を増やすことではなく、必要な情報を必要な市民へ届けることが重要であると考えます。デジタル媒体の活用は今後も重要性を増すと考えられますが、高齢者や情報機器の利用に不安を抱える市民への配慮も引き続き必要です。紙媒体とデジタル媒体を適切に組み合わせながら、多様な市民が社会教育活動へ参加しやすい情報環境を整備していくことを期待いたします。 全体として、社会教育事業の充実に向けて、各施設が専門性を生かしながら学習機会の提供、資料の収集・活用、情報発信に継続的に取り組んでいることを評価いたします。今後は、デジタル技術の活用と対面による学びの双方を充実させるとともに、多様な世代や地域住民が主体的に参画できる社会教育活動を推進し、地域コミュニティの形成や地域課題の解決につながる取組へと発展していくことを期待いたします。
--	---

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」などの利用促進事業を通して、子育て、家庭教育力の向上を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【ブックスタート関連事業について】 ・「赤ちゃんサロン」での読み聞かせ等の実施 8回 ・3～4か月健診時にリーフレット「絵本のある子育て」の配布 【おはなし会の実施】 ・赤ちゃんおはなし会を含めた実施回数 346回 【冬のおたのしみ会】 ・実施回数 4回 【読み聞かせボランティア養成講座の実施】 ・実施回数 全3回 参加者 延べ68人 新規加入者 12人 以上のように、様々な利用促進事業を行うことで、乳幼児の親を支援することができた。							
指標及び説明	【指標】子育て・家庭教育事業の実施回数				【説明】子育てや家庭教育を支援する事業（おはなし会）の実施数により、支援の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		349	平時	平時	平時	平時		350
		R 2 有事	230	284	302	346		R 8 有事
		72						80
分 析	令和4年度から令和7年度の4年間で、実施回数は230回から346回へと約1.5倍に増加してる。要因として、金子分館のおはなし会が再開した（令和6年度は6～8月まで金子地区センター改修工事のため休館していた）ことや、本館の「赤ちゃんおはなし会」が定着してきたことなどにより、参加人数が増加していることが挙げられる。 また、「読み聞かせボランティア養成講座」を開催したことにより、新たなボランティアが入会し、おはなし会の活性化にもつながった。							
課 題 及 び 改 善 点	「おはなし会」参加者のさらなる増加に努めるとともに、読み聞かせ技術の向上を目的とした読み聞かせボランティアの育成を図り、ひいては乳幼児の親を支援する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	地域ぐるみで子どもを育てる地域づくりを目指して、関係機関・団体等との連携による子育て広場事業、家庭教育学級を開催します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育て関連事業、家庭教育支援事業を関係機関、団体等の連携により実施した。							
指標及び説明	【指標】 子ども・子育て支援事業の数				【説明】 事業数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		5	平時	平時	平時	平時		30
		R 2 有事	27	27	32	54		R 8 有事
		0						25
分 析	公民館基本計画で「地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進」を公民館基本計画の重点施策に位置付けたことにより、各地区センターにおいて、子ども・子育て支援事業を効果的に実施することができたと考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業数の確保に加え、参加者のニーズに即した内容となっているか等、事業の質の面で改善の余地がある。そのため、関係機関・団体等との連携を継続しつつ、参加者アンケート等によりニーズを把握し、対象・テーマ・実施方法を見直すことで事業内容の充実を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主　　な　　取　　組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目　　　　　標	乳幼児と保護者を対象にした自然体験事業「おやこ森あそび」を実施し、自然の中で親子同士の交流や自然遊びを行います。							
取　組　状　況 及　び　成　果	10回開催。リピーターも多かったが参加者は減少した。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による支援数			
指　標　の　推　移	単位	現状値	実　績　値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		313	平時	平時	平時	平時		300
		R2有事	200	101	172	154		R8有事
		50						0
分　　　　　析	当初の予定通り、自然体験事業を計画的に開催したこと及び、ポスター掲示やホームページ、SNS等を活用し、PRに努めたが、参加者は18名減少した。外遊びのため、雨天時などは参加者が少ないこともある。							
課　題　及　び 改　善　点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラム開発とPR改善を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	P T A活動の活性化を図るため、家庭教育学級の企画運営、P T A広報紙発行の支援を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	家庭教育学級を実施に向けた支援を行ったが、昨年度より実施回数が減少した。							
指標及び説明	【指標】 家庭教育学級実施回数				【説明】 家庭教育学級を実施した回数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0	平時	平時	平時	平時		78
		R 2 有事	66	67	56	52		R 8 有事
		33						52
分 析	昨年度と比較して実施回数は減少したものの、家庭内で実践できる取組みを示すなど多様な方法で家庭教育学級を実施したことにより、参加者数は増加している。							
課 題 及 び 改 善 点	共働き家庭の増加等により、家庭教育学級の運営を担う役員・組織の確保が難しく、企画・運営の負担が大きいことから、実施回数の確保が課題となっている。今後、講座型の家庭教育学級に代わり、家庭でできる取組みをより進めるとともに、SNS 等を活用した連絡・周知の効率化により運営負担を軽減することで、継続的な実施につなげる。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	親子が一緒に学ぶことができる体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子が一緒に学ぶことができる体験事業を実施したことにより、子育て、家庭教育の充実を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 体験事業の数				【説明】 事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		9	平時	平時	平時	平時		9
		R 2 有事	7	7	9	7		R 8 有事
		5						7
分 析	事業数の減少は、少子化及び子ども関連の事業の多様化による影響を受けているほか、事業の企画検討体制を整えるに至っていない点にあると考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	公民館によって事業の実施状況に差があり、未実施の公民館があることから、計画的な事業実施が十分に図れていない。未実施館を中心に、実施に向けた企画検討を行うとともに、実施事例の共有や共催先(関係団体等)の確保により、各館での実施につなげる。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	自然体験等の多様な親子体験事業を実施し、共同作業により親子の一体感を高め、自らの子育ての振り返りや親子同士の交流を促進します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子体験事業を2事業4回開催した。自然やキャンプの楽しさを親子で学ぶ機会となった。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0	平時	平時	平時	平時		300
		R 2 有事	0	37	68	49		R 8 有事
		0						0
分 析	当日数組の欠席があり、惜しくも参加者前年度比 26.9%減になり、親子体験事業としての実績は減少したが、この他に小中学生の保護者を参加対象にしている事業も開催しており、親子同時の交流の場を設けることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	専門性を生かし、ボランティアとの協働により、親子で参加できる催しや地域の特性を生かした事業を実施する。また、学校と連携して博物館授業の充実を図るほか、「むかしのくらしと道具展」等では、地域の子どもたちと主体的に関われる事業を博物館ボランティア等と協働で実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市内外小中学校等延べ 55 校 3,850 人に対して、博物館授業（オンライン授業含む）を実施。ボランティアや地域と連携した事業を 11 件実施。学校やボランティアとの連携を通して、地域のなかの博物館としての取組みを深めることができた。							
指標及び説明	【指標】学校・家庭等と連携した事業数				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業数	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
		69						70
		R 2 有事	57	66	73	66		R 8 有事
		2						20
分 析	博物館授業の件数は、市外学校の来館が少なかったことから昨年度より 8 件減少した。ボランティア会等と連携して行える事業は例年どおり開催できたが、ボランティア会員数の減少もあり、これ以上の事業数増は困難である。							
課 題 及 び 改 善 点	オンライン授業は、運営面を含めてより効果的な手法を検討していく必要がある。またボランティアとの連携においては、高齢化、メンバー固定化による人員減少が課題となっている。							

※サイエンスバー、機織、自然散歩、茶体験（ボラ対応）、マユダマ飾り、たいけんコーナー（総体として）1、レコード（総体として）1、双子織講座（総体として）1、お茶大学（総体として）1、盆踊り1、原画展1

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価
						図書館	A
目 標	関連する市民団体や他の行政機関と連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図る。						
取 組 状 況 及 び 成 果	【小学校との連携事業】 ・図書館利用教室 小学2年生対象 実施数16校 1,002人 ・図書館施設見学 小学3年生対象 実施校12校 794人 ・学校図書館ボランティア研修会 全2回 参加者40人 ・小・中学生向きのブックガイド「あれこれブックガイド」の発行及び連絡アプリ「すぐーる」での配信 小学生6,246人、中学生3,302人 ・小学生を対象とした「読書ラリー」の実施 参加者延べ757人 ・移動図書館車の小学校への定期的な巡回 8校 【その他の施設との連携】 ・学童保育室や学校等への配本サービス 定期団体36団体 22,072冊 ・市内高等学校との連携会議の実施 1回 ・関係各課所との協力事業 「平和祈念資料展」「入間市自然展」等 ・いるま生涯学習出前講座「読み聞かせ講座」の実施 5回 以上のように、各所と連携し、様々な事業を行ったことで、読書活動の推進を図ることができた。						
指標及び説明	【指標】 学校・家庭・地域と連携した事業の実施数			【説明】 学校・家庭・地域と連携した事業の実施数により、連携の度合いを判断する。 (図書館利用教室及び図書館施設見学)			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	校	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		31	平時	平時	平時	平時	平時
		R 2 有事	32	31	30	28	32
		0					R 8 有事
分 析	令和7年度も小学校と連携し、読書活動の推進を図ることができたが、利用教室や見学は、学校側の都合(交通手段、学校行事の優先等)に大きく左右されるため、実施校数が減少傾向にある。今後は、案内メニューを更新するなどの工夫をして、さらなる連携を図りたい。						
課 題 及 び 改 善 点	施設見学に参加できない学校及び児童に対し、図書館公式ホームページでの動画「図書館にいこう」を案内するなどして、図書館に対する理解を深めてもらうよう努める。また、移動図書館車の巡回を通じて、読書活動の推進を図る。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	地域との連携による子どもたちを中心とした世代間交流会事業、地域交流事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	住民や団体と共催等で世代間交流事業、地域交流事業等を実施することで、地域学校協働活動につながった。							
指標及び説明	【指標】世代間交流事業、地域交流事業等の数					【説明】事業数により充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		8	平時	平時	平時	平時		9
		R 2 有事	7	7	5	17		R 8 有事
		1						7
分 析	世代間交流事業及び地域交流事業等の重要性を社会教育課・公民館・地域振興課で共有し、事業の検討等を行ったことにより、昨年度比で実施数が増加した。							
課 題 及 び 改 善 点	事業数は増加したものの、内容の多様化や継続的な実施に向けた企画・協力体制の強化が課題である。そのため、地域の関係団体等と協働し、既存事業の見直しを行うとともに、新たな交流事業の企画を進め、事業内容の充実を図ることが求められる。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価	
						児童センター	A	
目 標	生活課題や地域課題解決のための市民の主体的な学習活動や交流活動を促進するため、「個人の要望」に基づく学びとともに、「社会の要請」を踏まえた市民同士の学び合いの充実を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域との連携を図るため、児童の健全育成を推進するボランティア会等と協働し、季節行事やクラブ・教室などを行っている。また、市内の様々な場所で子どもの遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、移動児童館や出張児童館を行っている。そして、遊び道具を積載するプレーカーを活用し、アウトリーチ事業を実施している。 ・移動（出張）児童館：プレーカーを活用し、市内の公民館や近隣の公園に出張し、地域の子もたちに児童センターの事業の一部を提供する。25回（1729人） ・出張天体観望会：近隣の施設や小学校に出張し、望遠鏡を使って季節の星や惑星・月を観測する。6回（126人） ・プレーカー貸出し事業：遊びを通じた活動等を行う市民団体を対象にプレーカーの貸し出しを行っている。11回							
指標及び説明	【指標】 設定困難					【説明】 -		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時	平時	-	-
		R 2 有事	-	-	-	-	-	R 8 有事
		-	-	-	-	-	-	-
分 析	ボランティア会との協働事業はすべて実施することができた。また、地域のNPOや企業などとも連携し新たな事業を実施することができた。 プレーカーについても、出張児童館などを通じて、各地域に出向き遊びを展開することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	出張児童館については、今後、効率的な人員配置と事業の見直しを図り、より拡充していきたい。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	青少年関係団体や地域の老人クラブ等と連携し、小学生を対象とした体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	ネイチャークラフトたいけん、ミニ門松づくり、みんなでたき火デーを実施。							
指標及び説明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		247	平時	平時	平時	平時		250
		R 2 有事	150	54	101	181		R 8 有事
		0						0
分 析	小学生対象の事業のほか、誰でも気軽に参加できる事業も取り入れたことで、参加者が 80 名増加した。(前年度比 79.2%増)							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。 青少年活動センターの事業ではないが、市内外の学校が校外学習で施設を利用する際に、自然体験プログラムの協力をしている。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	団体支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	C
目 標	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じたことにより、子育て・家庭教育の充実を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】子育て・家庭教育支援事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		34	平時	平時	平時	平時		50
		R 2 有事	48	48	32	24		R 8 有事
		15						40
分 析	事業数の減少は、少子化及び子ども関連の事業の多様化等の影響を受けていると考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	子育てサークルへの活動支援は実施しているものの、子育て・家庭教育支援事業の実施回数が減少していることから、こども支援課や地域保健課等と連携し、共催による事業実施を進めるとともに、既存事業の見直しにより実施回数の確保を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	団体支援の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
目 標	青少年健全育成を支援する団体への補助金交付や行政との協働事業等を通して活動の支援を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	1 団体（入間市子ども会育成会連絡協議会）に補助金を交付							
指標及び説明	【指標】 会員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1,231	平時	平時	平時	平時		800
		R 2 有事	811	706	399	367		R 8 有事
		966						800
分 析	少子化による活動の停滞化に対応し、事業実施を担保できたものの、子ども会への加入者は減少している。小学生数の減少及び単位子ども会の解散により子ども会がない地区が増えていることも会員数が減少している要因である。							
課 題 及 び 改 善 点	事業実施の継続性を確保し、活動の活性化を図ることが必要。							

施 策	(2) 家庭・地域の教育力の向上			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	乳幼児の親を支援する事業の充実	図書館	A	B
		公民館	A	
		青少年活動センター	B	
	小中学校の親を支援する事業の充実	社会教育課	B	
		公民館	B	
		青少年活動センター	B	
	学校・家庭・地域の連携の促進	博物館	A	
		図書館	A	
		公民館	A	
		児童センター	A	
		青少年活動センター	B	
	団体支援の充実	公民館	C	
		青少年活動センター	C	
学 識 経 験 者 意 見 等	「乳幼児の親を支援する事業の充実」に関して、図書館では、ブックスタート関連事業や赤ちゃんおはなし会をはじめとする各種おはなし会を継続的に実施し、乳幼児期から絵本に親しむ機会を提供している点を高く評価いたします。おはなし会の実施回数は増加しており、子育て家庭への支援の充実が図られていることがうかがわれます。また、読み聞かせボランティア養成講座を実施し、新たなボランティアの育成につなげている点も評価できます。乳幼児期の読書体験は親子の関わりを深めるとともに、家庭教育を支える重要な取組であり、今後も参加しやすい環境づくりと継続的な人材育成を期待します。 公民館では、子ども・子育て支援事業を継続的に実施し、地域ぐるみでの子育て支援に取り組んでいる点を評価いたします。公民館は地域住民にとって身近な社会教育施設であり、親子が気軽に集い、交流できる場として重要な役割を果たしていると考えます。また、地域住民や関係団体との連携を通じて子育て家庭を支える取組は、地域の教育力向上という観点からも意義深いものといえます。今後は、事業数の確保だけでなく、参加者ニーズを踏まえた質的向上や、子育て家庭同士の交流促進につながる事業展開を期待します。 青少年活動センターでは、「おやこ森あそび」等の自然体験活動を継続して実施し、親子交流や自然体験の機会を提供している点を評価いたします。天候に左右される事業ではありますが、リピーターも多く、事業の魅力や必要性がうかがわれます。また、こうした事業は親子のふれあいを深めるだけでなく、子育て家庭同士が交流し、相互につながりを築く機会としても意義があると考えます。今後も、自然体験活動を通じた親子の学びや交流の場として継続的に実施されることを期待します。 「小中学生の親を支援する事業の充実」に関して、社会教育課では、家庭教育学級の実施方法を工夫し、参加者数増加につなげた点を評価いたします。共働き家庭の増加等に対応し、在宅型やSNS活用等を進めている点は現代的課題への適切な対応であると考えます。今後は、父親も含めた多様な保護者が参加しやすい実施形態について検討されることを期待します。 公民館では、親子が一緒に学ぶことができる体験事業を実施し、子育てや家庭教育の充実に取り組んでいる点を評価いたします。事業数は前年度から減少しているものの、親子が共に学び、体験を共有する機会を提供することは、家庭内のコミュニケーション促進や家庭教育力の向上につながる重要な取組であると考えます。今後は、実施事例の共有や関係団体との連携を進めながら、各公民館における継続的な事業実施を期待します。 青少年活動センターでは、自然体験等を通じた親子体験事業を実施し、親子の交流や保護者同士の交流機会の提供に取り組んでいる点を評価いたします。参加者数は前年度を下回ったものの、自然の中で親子が共に活動する体験は、家庭教育を支えるとともに、子育て家庭同士のつながりづくりにも寄与するものと考えます。今後は、事業の魅力発信やプログラム			

の充実を図りながら、より多くの家庭が参加できる事業展開を期待します。

「学校・家庭・地域の連携の促進」に関して、博物館では、市内外小中学校への博物館授業を継続的に実施するとともに、地域ボランティアと協働した事業を展開している点を評価いたします。一方で、ボランティアの高齢化や固定化は今後の課題であり、次世代の担い手育成についても検討が必要であると考えます。

図書館においては、小学校との利用教室や移動図書館車によるアウトリーチ等、多様な形で学校・家庭・地域と連携した読書活動推進が行われており、高く評価いたします。読書活動は学校教育のみならず家庭教育とも深く関わることから、今後も関係機関との連携を生かした取組の充実を期待します。

公民館では、世代間交流事業や地域交流事業が増加しており、多世代交流の機会創出という観点から大変意義深いものと考えます。今後も、学校や地域団体との連携を深めながら、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりにつながる取組を期待します。

児童センターでは、移動児童館やプレーカーを活用したアウトリーチ事業を積極的に実施している点を高く評価いたします。子どもの居場所づくりとして重要な取組であり、今後は事業評価指標の設定についても検討されることを期待します。

青少年活動センターでは、青少年関係団体や地域の老人クラブ等と連携し、小学生を対象とした体験事業を実施している点を評価いたします。参加者数も増加しており、地域住民との交流や世代間交流の機会づくりに寄与していることがうかがわれます。

「団体支援の充実」に関して、公民館では、子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じるなど、地域における子育て支援団体の活動を支援している点を評価いたします。一方で、子育て・家庭教育支援事業の実施回数は減少していることから、今後は関係部署との連携や事業内容の工夫を進めながら、継続的な活動支援の充実を期待します。

青少年活動センターでは、入間市子ども会育成会連絡協議会への補助金交付を通じて、青少年健全育成に取り組む団体の活動を支援している点を評価いたします。一方で、少子化や単位子ども会の解散等により、会員数の減少が続いていることは課題であると考えます。子ども会活動は、異年齢交流や地域とのつながりを育む貴重な機会でもあることから、今後は活動の魅力発信や運営方法の工夫を進めるとともに、持続可能な支援体制の構築に向けた検討を期待します。

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年課	B
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感 [※] 及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	参加を希望する児童の落選者数を削減する。							
指標及び説明	【指標】 落選率				【説明】 応募者総数からの落選者数の割合			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時	平時		-
		R 2 有事	10.46	3.9	8.6	0.0		R 8 有事
分 析		-						-
課 題 及 び 改 善 点	落選者を出さないよう前学期の応募状況を見ながらコース設定数と定員数を調整する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	サイエンスバー、夏休みこどもお茶大学、むかしのくらしと道具展等、博物館の専門性を生かした体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	指定管理者と連携したアリットお茶大学事業の充実を図るとともに、研究生コースの復活や、従来の体験活動も継続して実施することで、多様なプログラムの提供につなげることができた。なお、降雪で一部事業は中止となった。							
指標及び説明	【指標】 体験事業の実施数				【説明】 体験活動の機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		17	平時	平時	平時	平時		15
		R 2 有事	12	21	25	23		R 8 有事
分 析		2						2
課 題 及 び 改 善 点	市民の要望に応えるために事業数を増やしたいが、現在の職員体制でこれ以上増加させることは困難な状況である。							

※サイエンスバー、機織、自然散歩、茶体験、たいけんコーナー、双子織講座、こどもお茶大学、盆踊り、狭山茶の日茶会。お茶大学13講座+研究生コース1

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	青少年の豊かな心を育むために、創造性や協調性を育む体験事業、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	公民館事業として、天体観測会や書き初め教室等を実施した。							
指標及び説明	【指標】 体験事業の実施数				【説明】 実施数により、体験活動の機会提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		35	平時	平時	平時	平時		50
		R 2 有事	41	41	30	47		R 8 有事
		5						40
分 析	事業数の減少は、青少年のニーズの把握が不十分であることや、少子化及び青少年の活動の多様化等の影響を受けているものと考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	青少年のニーズや動向の把握に努め、事業の日程や時間帯を工夫するとともに、各種公民館事業の運営に青少年が参加できる場面を設定するなど、参加機会の拡充を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	小学生を対象にした多様な分野の体験事業、主に中学生を対象にした企画運営体験事業等、発達段階に応じた体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	七宝焼体験他芸術・文化・生活体験事業等を実施。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		779	平時	平時	平時	平時		1,475
		R 2 有事	370	1,385	1,915	2,165		R 8 有事
		36						0
分 析	企画運営事業を 1 事業増加するなどより多くの方に参加機会を提供した結果、参加者が 250 名増加した（前年度比 13.1%増）。							
課 題 及 び 改 善 点	事業内容の充実。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	青少年が学習等に利用できる「空き室開放事業」を通年で実施、春・夏休みには、「子ども居場所づくり事業」を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	春・夏休み「子ども居場所づくり事業」では、一部の公民館において地域の方による見守り・協力の仕組みを構築できた。							
指標及び説明	【指標】 こども居場所づくり事業の参加人数					【説明】 参加人数により居場所づくり事業の充実度を図る		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		980	平時	平時	平時	平時		1,200
		R 2 有事	1,070	1,070	1,477	2,535		R 8 有事
		335						600
分 析	子どもを視点とした事業展開に配慮したことにより、参加者の増加につなげることができた。また、地域の方々に協力いただく仕組みを構築できたことにより、効果的な事業実施につなげることができたと考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	分館で事業を実施する際は、所管する地区センター職員の派遣が必要であり、本館と比較して参加人数が少ない傾向にある。今後、職員の配置・派遣計画を含めた実施体制を整える。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【環境整備について】 ・ Y Aフリーボードの設置 ・ 試験前臨時学習室の実施 【資料の充実について】 ・ ティーンズ向け資料蔵書数 14,386 点 以上のように環境を整え、青少年向け資料の充実を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 ティーンズ書の蔵書数					【説明】 事業の蔵書数により、居場所づくりの充実度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	冊	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		12,927	平時	平時	平時	平時		16,000
		R 2 有事	14,921	13,361	13,363	14,386		R 8 有事
		13,160						16,000
分 析	令和 5 年度に約 1 割の蔵書が減少しているが、これは除籍（古い資料や利用の少ない資料の整理）を実施した結果あり、令和 6 年度から令和 7 年度にかけては、現代のティーンズの関心や問題に合わせた新しい資料を積極的に受け入れることで、蔵書数が増加した。 また、図書館がすすめるティーンズ書を紹介する「あれこれブックガイド」を作成し、中学校や市公式LINEで発信するなど、広報にも努めた。							
課 題 及 び 改 善 点	青少年向けの資料の充実は図れたが、居場所づくり事業を実施することができなかったの で、検討する必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	青少年がスタッフや友達と交流しながら自由にのびのび過ごす「むささびひろば」を実施します。また、青少年関係団体との協働により、中高生のための居場所づくりを展開します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	森あそびクラブ、むささび食堂、施設開放を実施。							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		3,747	平時	平時	平時	平時		2,030
		R 2 有事	1,000	1,888	3,960	2,937		R 8 有事
		521						263
分 析	令和6年度から「むささびひろば」を「森あそびクラブ」とし、年間を通じて活動する形態としている。定員を15名としているため、実績値としての伸びはないが、参加者は定着しつつある。施設開放で来館する児童、生徒も昨年度より減少しているが、新しく来館する児童も増えている。							
課 題 及 び 改 善 点	より来館が見込める事業内容の充実を図る。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	地域の青少年関係団体と関係機関等との連携を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	入間市中央少年少女合唱団との共催により「ジュニア合唱教室」を実施した。							
指標及び説明	【指標】連携事業の実施数					【説明】実施数により支援の充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1	平時	平時	平時	平時		2
		R 2 有事	1	1	1	1		R 8 有事
		1						1
分 析	市と団体で連携して定期的に事業を実施していることが、少子化が進む中においても事業の継続性の確保につながっていると考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	団体数が減少傾向にあるため、連携先の確保や活動の裾野拡大が課題である。そのため、活動の場の提供、関係機関とのマッチング、周知支援等を進める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	青少年団体への補助金交付、青少年活動者研修の実施、協働による青少年事業の実施等、多様な支援に取り組みます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	社会教育団体への補助金交付 2 団体（青少年相談員協議会・BSGS連絡協議会）に交付							
指標及び説明	【指標】 構成員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		203	平時	平時	平時	平時		200
		R 2 有事	202	210	224	219		R 8 有事
		209						200
分 析	BSGS連絡協議会の加入団体が1 団体減少したが、構成員の減少は5 名にとどまり、活動の継続性が保たれている。青少年相談員は令和7 年度は埼玉県で3 番目に多い委嘱数である。							
課 題 及 び 改 善 点	少子化等による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成					担当課	自己評価	
						博物館	B	
目 標	高校生・大学生がボランティアとして活躍できるイベントを実施し、事業スタッフや青少年リーダーの育成を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	自発的に事業へのボランティアを希望した高校生が協力してくれた。							
指標及び説明	【指標】 事業への参加人数				【説明】 ボランティア等の育成状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1	平時	平時	平時	平時		5
		R 2 有事	5	5	4	4		R 8 有事
		0						0
分 析	人数は少ないが、毎年一定数の参加者はある。なお、現在の博物館事業の中で、青少年がボランティアとして活動できる事業が少ない状況にある。							
課 題 及 び 改 善 点	指定管理者の事業等も含めて、青少年が活躍できる事業を検討する必要がある。引き続き近隣の高等学校との連携にも取り組んでいく。							

※機織り体験3 回、たいけんコーナー1 回

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							公民館	C
目 標	子ども会のジュニアリーダー養成事業等を実施し、ボランティアの育成を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	金子公民館でいるまの男塾、金子ジュニアリーダー養成講座を実施した。							
指標及び説明	【指標】 ボランティア体験事業の参加人数				【説明】 参加人数により、地域のボランティアや青年リーダー育成の進行度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		83	平時	平時	平時	平時		250
		R 2 有事	246	246	109	220		R 8 有事
		25						250
分 析	事業の実施数・参加者の減少は、少子化及び子ども関連事業の多様化等の影響を受けていると考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。今後の事業の在り方を検討していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							児童センター	A
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感※及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取組状況及び成果	児童の自主的な意見を運営に取り入れ、児童センターの運営や活動に生かすため、児童が意見を述べる場の提供を目的に、こども運営ボランティア事業を開催している。また、ボランティアの育成を図ることを目的に、長期休業期間中において中学生ボランティアを募集している。							
指標及び説明	【指標】 ボランティア体験事業、リーダー養成事業の参加人数				【説明】 事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		67	平時	平時	平時	平時		150
		R 2 有事	220	305	438	374		R 8 有事
		34						50
分 析	こども運営ボランティアは近隣の小学生の児童が多いが、広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動に努め、参加人数を増やすことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後もより広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動などに努めたい。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	中学生を主対象にした企画運営体験を実施し、高校生スタッフを経て、将来的な青年リーダーへと長期的な育成を行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	青少年企画、体験事業の実施、青少年活動センターフェスティバル（青少年企画・体験事業）の実施。							
指標及び説明	【指標】 参加者数				【説明】 事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		114	平時	平時	平時	平時		100
		R 2 有事	0	11	24	27		R 8 有事
		0						0
分 析	春・夏のフェスティバル事業で青少年スタッフを公募し、イベントの一部企画運営を委ねる取り組みをしている。自分たちが考えたコーナーで多くの来場者に楽しんでもらうことで参加者自身が達成感を得られる機会となっている。リピーターが増えており、青少年の事業への参画が進んでいる。参加者は前年度比 3 名増加、リピーターも多く、継続参加を促すことで将来的なリーダーの育成につながることを期待される。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会等が衰退する中でスタッフ、リーダーの養成そのものが困難になっているため、関係団体と調整を図りながら、担い手養成のための事業を検討し、実施に向けて取り組む。							

施 策		(3) 青少年教育の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	体験活動の機会提供	青少年課	B	B
		博物館	A	
		公民館	A	
		青少年活動センター	A	
	居場所づくりの充実	公民館	A	
		図書館	A	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体の支援の充実	公民館	B	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成	博物館	B	
		公民館	C	
		児童センター	A	
青少年活動センター		B		
学 識 経 験 者 意 見 等	「体験活動の機会提供」に関して、各担当課において概ね順調に事業が実施されており、高く評価いたします。青少年課では、希望者全員が参加できるよう定員数やコース数を柔軟に調整し、落選者を出さずに事業を実施したことを高く評価いたします。特に、第1希望から第4希望まで選択できる仕組みや、再募集を行うなどの工夫により、多くの児童に体験活動の機会を保障している点は意義深い取組であると考えます。			
	博物館では、お茶大学やサイエンスパークをはじめとする専門性を活かした多様な体験事業を継続して実施しており、子どもから大人まで幅広い世代が学びに触れる機会を提供していることを評価いたします。一方で、希望者が参加できない事業も見られることから、事業運営体制の工夫や効果的な機会提供について今後も検討されることを期待します。			
	公民館では、天体観測会や書き初め教室など、地域に根差した多様な体験活動を実施し、青少年の創造性や協調性を育む機会を提供していることを評価いたします。また、実績値は前年度から大きく増加しており、各公民館が地域特性を活かしながら事業展開を行った成果が表れているものと考えます。今後は、青少年のニーズをより丁寧に把握するとともに、事業の企画や運営に青少年自身が主体的に関わる機会の充実にも期待いたします。			
	青少年活動センターでは、多様な芸術・文化・生活体験事業を展開するとともに、企画運営事業を拡充することで参加者数の増加につながっていることを高く評価いたします。青少年が企画段階から関わる機会を設けていることは、自己肯定感や社会性の育成にもつながる重要な取組であり、今後も発達段階に応じた体験活動の充実を期待いたします。			
	「居場所づくりの充実」に関しては、各施設の特色を活かした取組が進められていることを評価いたします。公民館では、子ども居場所づくり事業を通じて、多くの子どもたちが安心して過ごせる環境づくりが進められており、地域住民の協力体制が構築されている点も評価いたします。			
	図書館では、ティーンズ向け資料の充実に加え、試験前臨時学習室の設置や情報発信の工夫により、青少年が利用しやすい環境整備に努めていることを評価いたします。今後は、資料提供に加え、青少年の交流や活動につながる新たな居場所づくりについても検討されることを期待します。			
	青少年活動センターでは、「むささびひろば」を発展させた「森あそびクラブ」の実施や施設開放を通じて、継続的な居場所づくりに取り組んでいることを評価いたします。参加者の定着が進んでいることから、今後も魅力ある事業展開により新たな利用者の拡大につながることを期待します。			
	「青少年関係団体の支援の充実」に関しては、地域団体の活動継続に向けた支援が行われて			

いることを評価いたします。公民館では、少年少女合唱団との連携事業を継続して実施しており、少子化が進む中でも団体活動の継続に寄与していることを評価いたします。一方で、青少年関係団体数の減少や活動の担い手不足は今後の課題であることから、引き続き活動の場の提供や周知支援、関係機関との連携強化を通じて、地域における青少年活動の裾野拡大につながることを期待いたします。

青少年活動センターでは、青少年相談員協議会やBSGS連絡協議会への支援を通じて、地域における青少年活動の基盤維持に努めていることを評価いたします。一方で、少子化等に伴う活動者数の減少が今後の課題であり、引き続き団体の活性化や新たな担い手確保に向けた取組が求められます。

「青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成」に関しては、将来の地域活動を担う人材の育成に向けた取組が進められていることを評価いたします。博物館では、高校生ボランティアの受入れを継続しており、人数は多くないものの、青少年が地域の文化活動や博物館事業に関わる機会を提供している点を評価いたします。今後は、指定管理者が実施する事業も含め、青少年が主体的に参画できる場の拡充や、近隣高等学校との連携強化を図ることで、継続的な人材育成につながることを期待いたします。

公民館では、ジュニアリーダー養成講座等を実施し、地域活動の担い手育成に取り組んでいることを評価いたします。一方で、子ども会活動の縮小等により従来型のリーダー養成が難しくなっていることから、時代に即した新たな人材育成の在り方について検討されることを期待します。

児童センターでは、こども運営ボランティア事業や中学生ボランティアの受入れを通じて、青少年が主体的に施設運営や事業に関わる機会を提供していることを高く評価いたします。また、広報活動の工夫により参加者数の増加につながっている点も評価できます。今後も市内各地域から幅広い参加者を集めるとともに、継続的な活動につながる仕組みづくりを進めることで、将来の地域活動を担う人材育成へと発展していくことを期待いたします。

青少年活動センターでは、青少年スタッフが企画運営に参画する体験事業を継続的に実施し、参加者の主体性や協働性を育む機会を提供していることを評価いたします。一方で、少子化や地域団体の縮小に伴い、将来的な担い手確保は重要な課題となっています。今後は関係団体との連携を図りながら、青少年が継続的に地域活動へ参画できる仕組みづくりを進め、地域社会を支えるリーダーの育成につながる取組の発展を期待いたします。

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	指定文化財等の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	調査研究を通じて、貴重な文化財を指定文化財等に指定するとともに、保存と活用に取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	市指定文化財については、新規指定を1件、追加指定を1件行った。また、国登録文化財（建造物）では、昨年度意見具申を行った1件が登録となり、さらに1件の意見具申を行っている。指定を受けた文化財の展示を行うことで、市民の文化財保護意識の啓発につなげることができた。なお、保存が必要な事業に対しては、補助金を活用することで保存を図った。							
指標及び説明	【指標】 指定文化財等の件数				【説明】 指定文化財の件数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		78	平時	平時	平時	平時		84
		R 2 有事	79	80	81	83		R 8 有事
		79						-
分 析	指定文化財の新規指定や国登録文化財の登録を通して、文化財を使った地域文化の発信や地域との連携強化につながっている。また、補助金については、国の補助金を活用することで、所有者等の負担軽減を図ることができている。							
課 題 及 び 改 善 点	文化財保護審議委員等の有識者や大学等と連携した調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、指定文化財に指定して保護するとともに、情報として発信していくことで、市民の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充
実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	文化財保護啓発事業の実施						担当課	自己評価
							博物館	B
目 標	各地区に残る身近な文化財を生かし、市民に郷土の魅力を再認識してもらう事業を実施していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	今年度新たに指定された文化財及び文化財保護協調週間に合わせて博物館のエントランス展示を実施した。文化財啓発に係る講座等を4回実施した。延べ参加者は61名だった。							
指標及び説明	【指標】 文化財保護啓発事業への参加人数				【説明】 市民の文化財保護意識の高まりを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		149	平時	平時	平時	平時		250
		R 2 有事	132	1,066	82	61		R 8 有事
		95						120
分 析	イベント参加者数は減少しているが、実物展示をはじめHP・SNS等の媒体を通じた情報発信を充実させることで、多くの人が文化財に興味を持つ機会につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	参加型の事業に加え、SNSやHPでの発信を充実させるなど、直接参加できない層にも届くような啓発方法の多角化に取り組んでいく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	近代化遺産の保存・活用						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	旧石川組製糸西洋館・旧黒須銀行の計画的な修繕による保存を図るとともに、魅力ある活用事業を実施し、市民文化の向上や観光の振興につなげる。また、財源の確保にも取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	西洋館では、一般公開（年46日）のほか、コンサートや講演会等のイベントを5事業開催することで、文化財としての重要性や魅力を発信し、市民の保護意識の向上につなげることができた。なお、運営に当たり市民ボランティア等の協力により、来館者の満足度につながっている。また、旧黒須銀行は、復元修理工事中であるが、修理に使用する瓦への記名会の開催や、工事の状況を逐次発信していくことで、活用に向けた機運醸成を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】 西洋館・旧黒須銀行の来館者数				【説明】 近代化遺産の活用状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		4,656	平時	平時	平時	平時		5,000
		R 2 有事	6,437	4,313	3,823	3,676		R 8 有事
		1,610						2,000
分 析	西洋館では、一般公開やイベント、撮影への貸出等の活用を通して、継続的に建物の魅力を伝えることができ、団体見学も増えている。また、旧黒須銀行については、復元修理工事「揚屋工事」や「瓦記名会」の新聞・テレビ報道等により広く周知することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	効果的な情報の発信や魅力的な事業の実施を通じて、実際に来館してもらう機会につなげていく必要がある。旧黒須銀行の工事完了後の活用に向けての機運を高めていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実
 【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	埋蔵文化財の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	試掘・発掘調査を実施して埋蔵文化財の適切な記録、保存を図るとともに、出土品等を活用した事業を実施していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	埋蔵文化財包蔵地において開発に先立つ試掘調査を 8 件実施し、調査結果をまとめた報告書を刊行することで、埋蔵文化財の適切な保護を図ることができた。							
指標及び説明	【指標】埋蔵文化財の報告書刊行数				【説明】埋蔵文化財の適切な保存状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回（累 計）	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		40	平時	平時	平時	平時		49
		R 2 有事	43	44	45	46		R 8 有事
		41						－
分 析	例年どおり埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して調査を実施することで、適切な記録保存を図ることができた。また、出土品の学校授業への貸出や最新出土品の展示により、市民の身近な地域の歴史や埋蔵文化財調査への関心につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	発掘調査に対応できる調査体制を整備するとともに、調査により新しく分かった情報を継続的に発信していく取り組みが必要である。出土品を授業用教材として活用しやすくする工夫が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実
 【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組		伝統文化活動団体の支援の充実						担当課	自己評価
								社会教育課	A
目 標		地域の文化を守り育むために、博物館と連携しながら地域の関係団体等との協働による事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果		入間市郷土芸能連合会のうち、博物館が管轄する指定無形民俗文化財以外の郷土芸能 10 団体へ助成金（1 団体 15,000 円）を分配した。 また、3 月に桜文化フェスのワークショップを開催したことにより、子どもたちが伝統文化に触れる機会を作ることができた。							
指標及び説明		【指標】 会員数合計				【説明】 10 団体の会員数の合計			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			400	平時	平時	平時	平時		400
			R 2 有事	391	391	358	376		R 8 有事
			396					400	
分 析		各団体の会員の高齢化によりその会員数は減少傾向にあった中で、昨年と比較し団体の会員数が増えたのは、団体との連携により若い世代が伝統芸能に触れることができる機会を創出してきたことが効果として表れたものと捉えている。							
課 題 及 び 改 善 点		団体構成員の高齢化が進む中、後継者となる人材の育成が進みづらい。加えて地区による会員数や構成の差がある。市との連携のみならず、団体同士が連携しながら、幅広い世代が伝統文化への興味・関心を高める事業等への取り組みが必要である。							

施 策	(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	指定文化財等の保護	博物館	A	A
	文化財保護啓発事業の実施	博物館	B	
	近代化遺産の保存・活用	博物館	A	
	埋蔵文化財の保護	博物館	A	
	伝統文化活動団体の支援の充実	社会教育課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	「指定文化財等の保護」に関しては、新たな文化財の指定や登録が進められており、文化財の保存と活用が着実に推進されていることを評価いたします。補助金の活用による保存支援や展示を通じた普及啓発も行われており、市民の文化財保護意識の向上につながっているものと考えます。今後も有識者や関係機関との連携を図りながら、地域に残る文化財の価値を発掘し、保護・活用につなげていくことを期待いたします。 「文化財保護啓発事業の実施」に関しては、展示や講座に加え、ホームページやSNS等を活用した情報発信に取り組み、多様な手法による普及啓発が進められていることを評価いたします。参加者数は減少しているものの、文化財に関心を持つきっかけづくりとして情報発信の役割は重要であり、今後も幅広い世代に文化財の魅力が伝わる工夫を期待いたします。 「近代化遺産の保存・活用」に関しては、旧石川組製糸西洋館の公開や各種イベントの開催により、文化財としての価値や魅力を発信していることを評価いたします。また、旧黒須銀行についても復元修理工事を進めながら、市民参加型の取組や情報発信を行い、将来の活用に向けた機運醸成に努めていることを評価いたします。今後は工事完了後の活用を見据え、地域資源としての魅力をさらに高める取組を期待いたします。 「埋蔵文化財の保護」に関しては、試掘・発掘調査や報告書の刊行を通じて、埋蔵文化財の適切な記録保存が行われていることを評価いたします。また、出土品の展示や学校教育での活用により、地域の歴史や文化への理解を深める機会を提供している点も評価できます。今後は調査成果の発信や教育活動への活用をさらに進め、市民が地域の歴史に親しむ機会の充実を期待いたします。 「伝統文化活動団体の支援の充実」に関しては、郷土芸能団体への支援や伝統文化に触れる機会の創出を通じて、地域文化の継承に取り組んでいることを評価いたします。団体構成員の高齢化や後継者不足は大きな課題となっていますが、子どもや若い世代が伝統文化に触れる機会を継続的に設けていることは、将来の担い手育成につながる重要な取組であると考えます。今後は団体間の連携や情報発信の充実を図りながら、伝統文化の継承と活性化に向けた取組が一層推進されることを期待いたします。			

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組	博物館施設の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	施設の機能維持や、来館者の安心・安全と利便性の向上につながる設備について、計画的な修繕を行う。また、館庭については、「市民の心のよりどころ」となる場として、活用方法を検討し、利用促進に取り組んでいく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	経年劣化により更新が必要な設備については、優先順位をつけた修繕を行うことで、施設運営に影響が出ないようにした。また、関係課と調整し、屋上に太陽光パネルを設置する工事を実施するなど、環境負荷低減に向けた取り組みを行った（本格稼働は令和8年度から）。							
指標及び説明	【指標】 市民意識調査の満足度				【説明】 市民意識調査の結果から判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	満足度	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0.197	平時	平時	平時	平時		0.210
		R 2 有事	0.218	－	0.200	－		R 8 有事
								0.180
分 析	満足度は前回よりもやや低下したが、市民が入間市らしい魅力や個性として捉えている施設としては、常に上位に位置している。計画的な修繕により来館者が安全安心に施設を利用できるようにするとともに、事業を含めて市民サービスの充実を図っていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	経年劣化により不具合を生じる施設・設備が増加しており、個別の修繕では対応できない事例も発生している。博物館資料を適切に保管していくためには、施設の改修に向けた検討も必要となっている。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組		図書館施設の充実					担当課	自己評価	
							図書館	B	
目 標		指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努める。							
取 組 状 況 及 び 成 果		・ 指定管理者とは定期的に館運営会議等を行い、十分な協議のもと管理運営を行うことができた。また、各施設管理者とも連携・協力して、快適な読書環境の整備に努めた。 ・ 移動図書館車やまばと号の音響設備を改修し、音楽を流すことで、市民にやまばと号の来館を周知することができた。 ・ 西武分館では、証明器具のLED化を進めている。							
指標及び説明		【指標】 社会教育施設に関する市民満足度			【説明】 市民意識調査の結果から、施設やサービスの充実が図られているかを判断する。(施設の利用状況「利用している割合」)				
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			42.0	平時	平時	平時	平時		45.0
			R 2 有事	37.9	－	34.1			R 8 有事
			－						30.0
分 析		令和４年度から令和６年度にかけて、満足度が3.8ポイント低下しているが、市内施設の利用状況では、「彩の森入間公園」「総合クリーンセンター」「地区センター・公民館」に次ぐ４位となっており、市民にとって図書館が生活圏の重要な知的拠点として認識されていることが伺える。							
課 題 及 び 改 善 点		安心安全な読書環境の整備のために、西武分館のエレベーター及び自動ドアの更新が必要である。特にエレベーターについては、２階会議室が選挙投票所及び災害避難所となることから早急な対応が必要である。また、藤沢分館では空調の更新及び本館、西武分館、藤沢分館の蛍光灯入手が困難であり、LED化が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組		公民館施設の充実						担当課	自己評価
								公民館	A
目 標		老朽化が進む施設を計画的に改修・修繕するとともに、引き続き施設のバリアフリー化に取り組む。また、ユニバーサルデザインへの対応や多目的に利用できるオープンスペースの拡充など全般的な機能向上に努めます。							
取 組 状 況 及 び 成 果		令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、照明器具交換修繕や電気設備工事などを実施した。							
指標及び説明		【指標】社会教育施設に対する市民満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		満足度	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
			0.291						0.320
			R 2 有事	0.297	0.297	0.329	0.329		R 8 有事
			－						0.300
分 析		令和5年度から施設自体は地域振興課の管轄となったが、計画的に修繕及び工事を実施したため、目標を達成することができた。							
課 題 及 び 改 善 点		今後、工事期間中の利用制限により、サークル活動や公民館事業の継続に影響が生じる可能性がある。そのため、地域振興課と工事計画・周知・代替会場の確保等について事前調整を行い、活動・事業の継続性を確保することに努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組		青少年活動センター施設の充実					担当課	自己評価	
							青少年活動センター	A	
目 標		緊急性の高いものから計画的に修繕を行っていきます。また、特色を生かし、活発で好奇心旺盛な子どもたちが気軽に来館していただけるような、安心・安全で、優しく快適な施設づくりに取り組んでいきます。さらに、青少年活動センター運営協力会会員との協働により、様々な利用者のニーズに即した魅力的な施設の整備に取り組んでいきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果		緊急性の高いものから計画的に修繕を行った。ナラ枯れによる枯損木の伐採を行った。							
指標及び説明		【指標】 設定困難				【説明】－			
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		—	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			—	平時	平時	平時	平時		—
			R 2 有事	—	—	—	—		R 8 有事
			—						—
分 析		必要な修繕を適正に行うことにより、利用者の安全確保を徹底した。また、定期的に施設内の点検を行い、ナラ枯れが発生した枯損木等について、追加伐採など適正な措置を実施した。							
課 題 及 び 改 善 点		近年、ナラ枯れによる枯損危険木が多数発生している。定期点検を行うとともに、計画的な伐採等を行っていく							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

施 策	(1) 施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	博物館施設の充実	博物館	A	A
	図書館施設の充実	図書館	B	
	公民館施設の充実	公民館	A	
	青少年活動センター施設の充実	青少年活動センター	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	「博物館施設の充実」に関しては、施設や設備の計画的な修繕を進めるとともに、太陽光パネル設置など環境負荷低減に向けた取組も実施されており、安全で快適な施設運営に努めていることを評価いたします。また、市民が入間市らしい魅力や個性として認識する施設の一つとして高い評価を維持しており、市民の学習活動や文化活動を支える拠点として重要な役割を果たしていると考えます。一方で、施設の老朽化が進んでいることから、将来的な改修や設備更新に向けた計画的な検討を進めていくことを期待いたします。「図書館施設の充実」に関しては、指定管理者や各施設管理者との連携により適切な管理運営が行われていることを評価いたします。館内環境の整備など、市民が利用しやすい読書環境づくりに継続的に取り組んでいることは、地域の知的基盤の充実につながるものと考えます。今後は老朽化した設備の更新を計画的に進め、安全で快適な利用環境の維持・向上に努められることを期待いたします。			
	「公民館施設の充実」に関しては、施設管理体制が変更された中においても、関係部署と連携しながら必要な修繕や設備工事を実施し、市民満足度の向上につなげていることを評価いたします。計画的な施設整備によって安全で利用しやすい環境が維持されていることは大きな成果であると考えます。今後は施設改修に伴う利用制限等にも配慮しながら、利用者や地域活動への影響を最小限に抑える工夫を進められることを期待いたします。			
	「青少年活動センター施設の充実」に関しては、利用者の安全確保を最優先に、必要な修繕や危険木の伐採などを適切に実施していることを評価いたします。豊かな自然環境を有する施設の特徴を活かしながら、安全で快適な活動環境の維持に努めていることは、青少年の健全育成を支える基盤として重要な取組であると考えます。今後も利用者ニーズを踏まえた施設整備を進めるとともに、継続的な維持管理に取り組まれることを期待いたします。			